



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月7日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 平成30年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	8,582	△3.8	529	2.9	516	2.0	350	3.0
30年3月期第2四半期	8,920	△3.0	514	25.9	505	34.1	340	33.4

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 514百万円(61.7%) 30年3月期第2四半期 318百万円(98.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
31年3月期第2四半期	71	95	—	—
30年3月期第2四半期	69	89	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	18,097		6,291	34.8		
30年3月期	17,321		5,825	33.6		

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,291百万円 30年3月期 5,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
30年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00	
31年3月期	—	10 00				
31年3月期(予想)			—	10 00	20 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	18,300	2.9	900	△14.6	890	△16.8	600	△17.7	123	18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	5,155,600株	30年3月期	5,155,600株
31年3月期2Q	284,714株	30年3月期	284,714株
31年3月期2Q	4,870,886株	30年3月期2Q	4,870,970株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境は堅調に推移し、緩やかな景気回復が続きました。これを背景に個人消費は持ち直しの動きが見られますが、記録的な豪雨、台風、地震などの自然災害により、消費マインドは一時的に冷え込む動きとなりました。一方、経済の先行きにつきましては、米国の通商政策の動向、中国をはじめとしたアジア新興国の経済成長減速など、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、本年度から始まる中期経営計画のミッションとして、「日本一の靴総合販売会社となるために、靴通販および単店で靴・履物販売数量ナンバーワンを目指す」を掲げ、靴を主体としたヒラキ開発商品の拡販に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、85億82百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は5億29百万円（前年同期比2.9%増）、経常利益は5億16百万円（前年同期比2.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億50百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

当社グループの報告セグメントの当第2四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、三大都市圏を主体としたテレビCM広告、スクールキャンペーンの実施、ならびに過半を占めるWEB受注の更なる強化を図るため、LINEショッピングの開始およびLINEとWEB会員との連携強化など新規顧客の獲得、既存顧客のリポート率向上に取り組まれました。しかしながら、受注のけん引役となる販売促進商品は、軽量スポーツスニーカー「JOG軽」シリーズが、発売以来累計80万足を超えるヒット商品となりましたが、当年度発売新商品の伸び悩みが当第2四半期連結累計期間の受注数量に影響し、総受注件数は前年を下回る結果となりました。

この結果、売上高は42億93百万円（前年同期比5.1%減）となりました。利益面では、粗利益管理の徹底による売上総利益率の改善の寄与および広告宣伝費について、WEBシフトによるカタログ経費の効率的削減により、減収の影響および物流費の増加を補い、セグメント利益（営業利益）は、5億95百万円（前年同期比2.5%増）と減収増益となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、お客様に「日常の買い物にワクワク感」を提供すべく、大商談会を2回開催する等により特価商材の仕入れを強化し、品揃えの拡充と低価格商品の販売を図りました。また、長期・短期の出張販売を継続実施し、靴・PB商品の拡販にも取り組まれましたが、天候の影響もあり、主力の靴の販売に苦戦し売上は伸び悩みました。

この結果、売上高は40億32百万円（前年同期比1.7%減）となりました。利益面では、チラシ配布の効率化による広告宣伝費、その他諸経費の削減により、セグメント利益（営業利益）は、99百万円（前年同期比4.8%増）と減収増益となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、大口取引先への新商品販売が伸び悩み、新規取引先の開拓は徐々に成果がみられるものの、その販売額が予想を下回った結果、売上高は2億55百万円（前年同期比12.9%減）、セグメント利益（営業利益）は、諸経費の削減により34百万円（前年同期比0.5%増）と減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億76百万円増加し、118億9百万円となりました。これは、現金及び預金が8億78百万円、未着商品が1億10百万円増加し、受取手形及び売掛金が1億69百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億99百万円減少し、62億88百万円となりました。これは、建物及び構築物が93百万円、投資その他の資産が65百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ7億76百万円増加し、180億97百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億44百万円減少し、46億22百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が1億79百万円増加し、その他流動負債が2億75百万円、未払法人税等が45百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4億55百万円増加し、71億84百万円となりました。これは、長期借入金が4億86百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億10百万円増加し、118億6百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億66百万円増加し、62億91百万円となりました。これは、利益剰余金が3億1百万円、繰延ヘッジ損益が1億59百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.2ポイント上昇し、34.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ2億22百万円減少し、23億63百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億99百万円(前年同四半期は7億61百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億16百万円の計上、売上債権の減少額1億68百万円、たな卸資産の増加額1億74百万円および法人税等の支払額2億円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、11億6百万円(前年同四半期は9億24百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出24億円、定期預金の払戻による収入13億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、5億84百万円(前年同四半期は44百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入19億円、長期借入金の返済による支出12億34百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、平成30年5月11日の決算短信にて発表しました平成31年3月期の業績予測を見直した結果、当該四半期において平成31年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,487,999	7,366,289
受取手形及び売掛金	1,102,442	932,980
商品	3,115,689	3,180,213
未着商品	37,485	148,364
貯蔵品	16,568	15,414
その他	91,910	182,947
貸倒引当金	△19,111	△17,201
流動資産合計	10,832,984	11,809,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,696,364	2,602,580
土地	3,157,566	3,157,566
その他(純額)	183,803	160,901
有形固定資産合計	6,037,734	5,921,047
無形固定資産	133,194	115,992
投資その他の資産	317,622	251,941
固定資産合計	6,488,550	6,288,981
資産合計	17,321,535	18,097,991
負債の部		
流動負債		
買掛金	946,745	934,548
1年内返済予定の長期借入金	2,322,352	2,502,218
未払法人税等	220,878	175,056
賞与引当金	131,429	133,118
役員賞与引当金	-	6,726
ポイント引当金	33,109	33,146
その他	1,112,349	837,268
流動負債合計	4,766,864	4,622,083
固定負債		
長期借入金	6,351,363	6,837,460
環境対策引当金	13,568	13,568
退職給付に係る負債	154,246	158,068
資産除去債務	32,641	32,937
その他	177,097	142,066
固定負債合計	6,728,916	7,184,100
負債合計	11,495,781	11,806,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	4,419,209	4,720,982
自己株式	△151,110	△151,110
株主資本合計	5,867,540	6,169,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,177	18,863
繰延ヘッジ損益	△74,214	84,788
為替換算調整勘定	19,249	18,841
その他の包括利益累計額合計	△41,786	122,493
純資産合計	5,825,754	6,291,807
負債純資産合計	17,321,535	18,097,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	8,920,282	8,582,024
売上原価	4,962,819	4,675,790
売上総利益	3,957,463	3,906,233
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,109,302	1,044,793
貸倒引当金繰入額	8,895	6,562
ポイント引当金繰入額	18,495	27,422
給料手当及び賞与	861,625	839,264
賞与引当金繰入額	139,740	133,118
その他	1,304,575	1,325,395
販売費及び一般管理費合計	3,442,635	3,376,557
営業利益	514,827	529,676
営業外収益		
受取利息	2,223	2,758
受取配当金	1,273	1,456
デリバティブ評価益	14,840	15,007
受取補償金	14,767	16,042
その他	17,443	11,466
営業外収益合計	50,548	46,730
営業外費用		
支払利息	46,413	40,663
為替差損	11,723	19,517
その他	1,374	80
営業外費用合計	59,511	60,262
経常利益	505,864	516,144
税金等調整前四半期純利益	505,864	516,144
法人税、住民税及び事業税	151,339	155,715
法人税等調整額	14,109	9,946
法人税等合計	165,448	165,662
四半期純利益	340,416	350,482
親会社株主に帰属する四半期純利益	340,416	350,482

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	340,416	350,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	840	5,685
繰延ヘッジ損益	△22,347	159,002
為替換算調整勘定	△490	△408
その他の包括利益合計	△21,997	164,279
四半期包括利益	318,418	514,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318,418	514,761
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	505,864	516,144
減価償却費	160,132	149,923
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△454	△1,910
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,782	1,689
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,006	6,726
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△10,580	36
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,771	3,821
受取利息及び受取配当金	△3,496	△4,214
支払利息	46,413	40,663
為替差損益(△は益)	△51	△446
売上債権の増減額(△は増加)	242,321	168,885
たな卸資産の増減額(△は増加)	242,723	△174,249
仕入債務の増減額(△は減少)	△109,793	△10,916
その他	△89,410	△160,536
小計	988,663	535,617
利息及び配当金の受取額	4,468	5,049
利息の支払額	△46,033	△40,540
法人税等の支払額	△185,497	△200,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	761,600	299,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,700,600	△2,400,600
定期預金の払戻による収入	1,800,000	1,300,000
有形固定資産の取得による支出	△17,455	△2,586
無形固定資産の取得による支出	△5,291	△2,815
投資有価証券の取得による支出	△1,757	△248
その他	150	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△924,955	△1,106,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,400,000	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△1,259,594	△1,234,037
配当金の支払額	△58,460	△48,733
その他	△37,103	△32,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	44,842	584,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	△253	△261
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△118,766	△222,310
現金及び現金同等物の期首残高	2,814,882	2,586,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,696,116	2,363,789

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,523,235	4,103,875	293,171	8,920,282	—	8,920,282
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,523,235	4,103,875	293,171	8,920,282	—	8,920,282
セグメント利益	581,475	94,655	34,021	710,153	△195,325	514,827

(注) 1 セグメント利益の調整額△195,325千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,293,763	4,032,845	255,415	8,582,024	—	8,582,024
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,293,763	4,032,845	255,415	8,582,024	—	8,582,024
セグメント利益	595,894	99,231	34,203	729,329	△199,653	529,676

(注) 1 セグメント利益の調整額△199,653千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。